

科学展推進委員会

委員長 熊井 修司

一 研究テーマ

児童生徒の科学研究に対する関心を高め、創意に満ち、工夫と努力に富んだ研究態度を養うための科学展の運営はどうあったらよいか。

二 研究の概要

- 1 科学作品展（児童生徒科学作品展、優秀作品巡回展）の効果的な運営。
- 2 創意工夫が見られ、活用される科学作品研究録作り

三 研究事項

- 1 更埴児童生徒科学作品展の開催に関わる業務推進と運営。
(出品作品の展示と審査、及び巡回展の準備と実施)
- 2 科学作品研究録第29集発行に関わる業務推進。
(研究収録作品の原稿依頼、校正、発行)

四 運営の経過

1 更埴児童生徒科学作品展について

- (1) 期日 9月2日(土) …午前9時～午後4時
9月3日(日) …午前9時～正午
- (2) 会場 屋代小学校体育館
- (3) 出品数 小学校…72点 中学校…9点 計81点
- (4) 来場者数 334名
- (5) 長野県学生科学賞作品展(県展) 出品作品と結果

会場 塩尻市立広丘小学校

作 品 名	学年	氏 名	学校名	審査結果
ミニトマトのけんきゅう	小2	渡邊 凌弥	治田小	入選
ふわふわタオルが ガサガサになるまで	小4	塚田 祥太	上山田小	入選
植物の再生～発根はどこから？	小5	三井飛裕人	南条小	県教育委員会賞
ハスの葉はなぜ水をはじくのか？	中1	田中 孝明	更埴西中	入選

2 科学作品巡回展について

本年度は10月10日～1月18日まで、戸倉上山田坂城地区と更埴地区の2地区に分けて巡回してみてもらうことができた。(県展作品と収録作品も巡回)

3 科学作品研究録第29集発行について

本年度は3年に1度の研究録発行の年にあたったので、本年度の収録作品の原稿依頼、回収、校正、および27年度、28年度の収録作品も含めて全体の校正作業を行い、研究録第29集を発行した。

五 まとめ

- 1 科学作品展の前日に1名の補充員の先生にお手伝いいただき、展示や審査等会場準備を行った。また、会場校の先生方にご協力いただき、会場準備を滞りなく進めることができ大変ありがたかった。戸倉上山田中学校科学研究部の生徒に、受付や会場の作品の監視を手伝っていただいております、大変ありがたかった。
- 2 科学展当日には大勢の方(334名)にお越しいただき、作品を見ていただくことができた。保護者、地域の方の関心の高さを実感した。会場の作品管理当番(委員)もやりがいを感じながら活動することができた。
- 3 作品募集については小学校の場合、各学年1点の計6点だが、優秀作品がある場合には6点を超えても良いことを明記し、良い作品は数多く出品できるようにしていきたい。また、中学生の作品が増えるように各校で工夫していただけるとありがたい。
- 4 県展出品作品は小学校連学年より1点を原則とするが、よりよい作品を県へ送るために、連学年割にとらわれ過ぎずに出展していきたい。
- 5 多くの方に協力をいただき研究録第29集を発行することができた。科学研究の手引きとして、多くの児童生徒に活用していただけるとありがたい。
- 6 科学作品展への出品、巡回展の掲示、研究収録原稿の準備などご協力ありがとうございました。

7 平成29年度 委員会の構成

世話係 若林 一成(八幡小学校長)

委員長 熊井 修司(戸倉小) 副委員長 堀内 一彦(五加小)

委員 多羅沢敏雄(南条小) 久保 文靖(治田小) 西澤 雄司(東小)

中土 理央(更埴西中)